



2022-2023
国際ロータリーテーマ



イマジン
ロータリー

Rotary

ジェニファー・E. ジョーンズ

2022～2023年度 標語
「平和な未来を想像し、行動しよう。」

諫早西ロータリークラブ
会長 川野 弘茂



第1747例会 2022年 8 月 3 日例会記録 NO.5 天候 晴

【本 日】会員数 49名 出席 41名 欠席 4名 出席率 91.84%
【7/27】会員数 49名 出席 47名 欠席 1名 (MU 3名) 免除 1名 出席率 97.92%

会長の時間



川野 弘茂 会長

みなさんこんにちは。夏本番、35度以上の猛暑日が続いております。8月1日には、鳥取米子で38.9度、観測史上最高に並んだそうです。体温を超える危険な暑さになっているところもあり、熱中症に厳重警戒が必要です。

ながさきみなとまつりが、3年ぶりに開催され、7月30日には9千発、31日には7千発の花火が、長崎の夜空を彩りました。

2021年度の長崎県のふるさと納税も過去最高132億円超で、制度開始以来最高となりました。行事や経済が少しずつ回復している兆しはあります。一方、国内で新型コロナウイルス感染者が1日当たり23万人を

超え過去最多を更新しました。

今日は、8月24日に開催されるクラブ協議会のリハーサルがあります。暑さに負けず、諫早西ロータリーの活動を発表したいと思います。各委員長のみなさんは、宜しくお願いします。

幹事報告

例会変更及び休会なし

【お知らせ】

※国際ロータリー日本事務局より

8月ロータリーレート 1ドル=133円

※長崎中央ロータリークラブより(久保ガバナー補佐宛)

「インターアクト年次大会終了の御礼」

※長崎北東ロータリークラブより

「幹事交代のお知らせ」

株式会社 にしけい

ソニー生命保険株式会社

鬼塚洋一様

→ 南里敏洋(なんり としひろ)様

【8月誕生日祝】



宮本 峻光 君

昭和 20 年 8 月 7 日

草野 恵介 君

昭和 28 年 8 月 27 日

会 長／川野 弘茂 幹 事／永井 栄次 創立日／昭和60年2月20日 認証日／昭和60年3月5日

例会場／平安閣 諫早サンプリエール(毎週水曜日) 〒854-0053 諫早市小川町71-1 TEL (0957) 24-3907

事務局／諫早商工会議所内 〒854-0016 諫早市高城町5番10号 TEL (0957) 22-3323

会報委員／毎熊 正太郎・坂本 伸二・宇土 久

HP/<http://isahaya-west.com> E-mail/info@isahaya-west.com

😊 スマイルボックス 😊

川野 弘茂君：今日は、ガバナー公式訪問リハーサル
宜しくお願いします。

永井 栄次君：暑中お見舞い申し上げます。暑さに負けず、
頑張りましょう。

草野 恵介君：塚原さん、まっとうたばい。よう帰って
きんしゃった。よかった、よかった。

福田 和幸君：塚原さん無事お帰りなさい。又、元気で
頑張りましょう。

古賀 秀次君：ワクチン4回目打ってきました。もう
大丈夫です。

平野 義信君：塚原さん無事お帰りなさい。良かったで
すね。元気に頑張りましょう。

日高 正朗君：塚原さん、お帰りなさい!!

早田 和幸君：残暑お見舞い申し上げます。

吉田健一郎君：塚原さんお帰りなさい。

宮本 峻光君：誕生日祝、嬉しくも悲しく…。残りは、
わずか20～30年か。精一杯、自分らしく
生きたい。今後とも宜しくお願いします。

塚原 浩三君：4ヶ月休会させて頂きありがとうございました。
これからも宜しくお願いします。

佐藤 幸雄君：早退します。

本日の合計 (8/3)	累 計 額
¥ 2 1,0 0 0	¥ 2 0 2,0 0 0

クラブアッセンブリー

ガバナー公式訪問リハーサル



左から永井幹事、川野会長、久保ガバナー補佐

ロータリーの友 7月号 『ロータリーとは』

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数36,614、会員総数1,162,763人(2022年5月18日国際ロータリー公式発表)に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920(大正9)年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,223、会員数84,232人(2022年4月末現在)となっています。